

連結決算補足説明資料

2024 年 3 月期

(2023 年 4 月 1 日～2023 年 6 月 30 日)

2023 年 7 月 28 日

(証券コード：9640)

株式会社セゾン情報システムズ

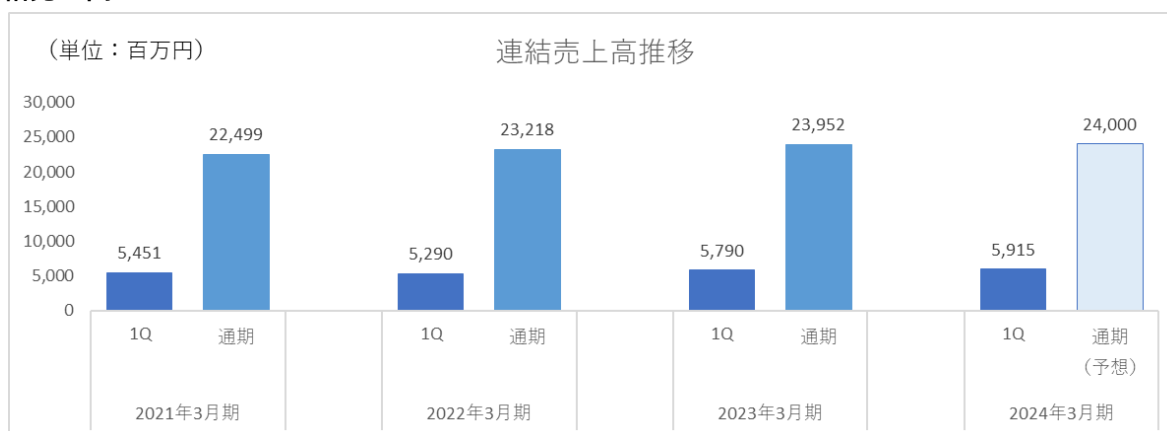
目次

1. 連結売上高・連結営業利益の推移
2. 連結売上高・連結営業利益の事業セグメント別増減
3. 事業セグメント別の損益状況
 - ① HULFT 事業
 - ② データプラットフォーム事業
 - ③ 流通 IT サービス事業
 - ④ フィナンシャル IT サービス事業
4. 事業セグメント別の売上高ストック・フロー比率
5. トピックス

(注) この資料に記載されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 連結売上高・連結営業利益の推移

■連結売上高



<当第1四半期>

連結売上高は、HULFT 事業、データプラットフォーム事業及び流通 IT サービス事業が拡大したこと等により、5,915 百万円（前年同期比 2.2%増）となりました。通期予想（24,000 百万円）に対しては、進捗率 24.6%となりました。

<2023 年 3 月期（通期）>

- HULFT 事業及びデータプラットフォーム事業が拡大したこと等により売上が増加（前年同期比 733 百万円増）

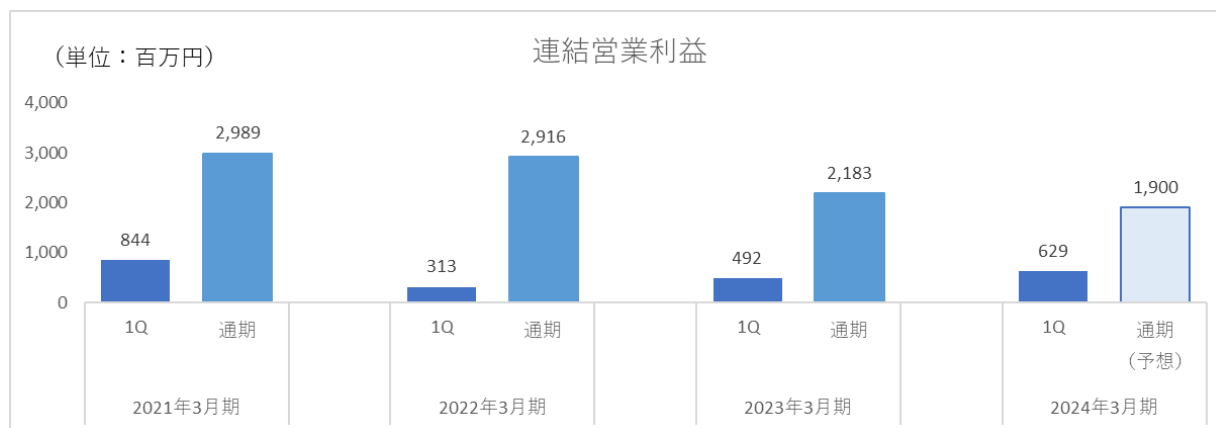
<2022 年 3 月期（通期）>

- 事業モデルの転換に伴う既存事業の一部縮小はあった一方、成長の柱に位置付けるリンケージ事業及び HULFT 事業の売上が増加（前年同期比 719 百万円増）

<2021 年 3 月期（通期）>

- 成長の柱に位置付けているリンケージサービスが進展。一方、流通 IT サービス事業及びフィナンシャル IT サービス事業の既存領域におけるシステム開発・運用案件は減少（前年同期比 1,061 百万円減）

■連結営業利益



<当第1四半期>

連結営業利益は、人的資本への費用投下が進んだ一方、売上高の増加及び「HULFT Square」に関わる開発費用の低減等により、629百万円（同27.7%増）となりました。通期予想（1,900百万円）に対しては、進捗率33.1%となりました。

<2023年3月期（通期）>

- 「HULFT Square」等製品サービスの開発及び人的資本への費用が増加（前年同期比732百万円減）

<2022年3月期（通期）>

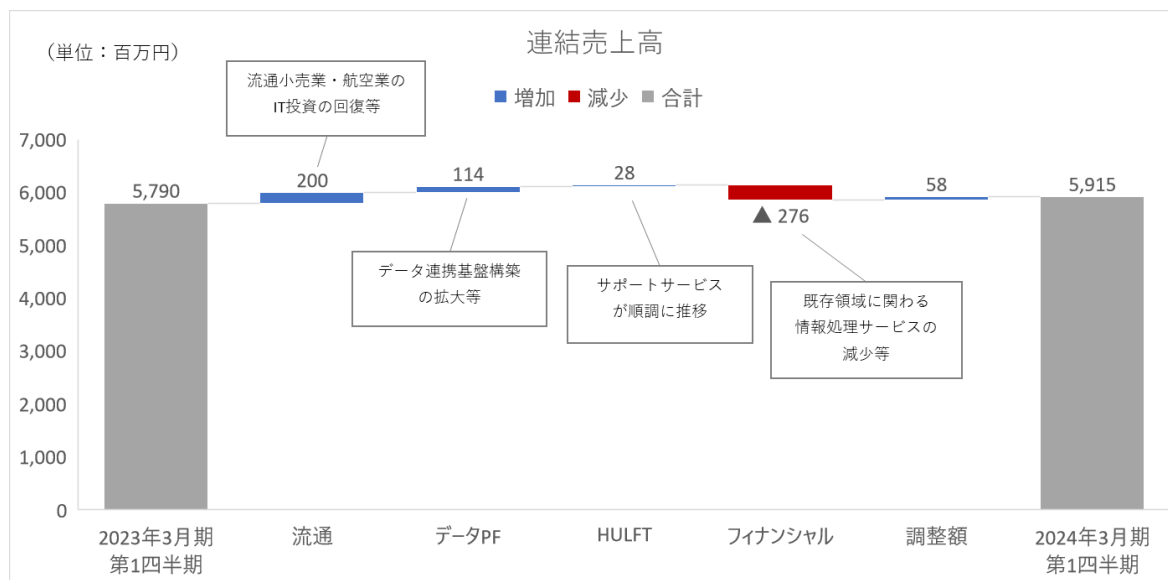
- 「HULFT Square」の研究開発費等が増加（前年同期比72百万円減）

<2021年3月期（通期）>

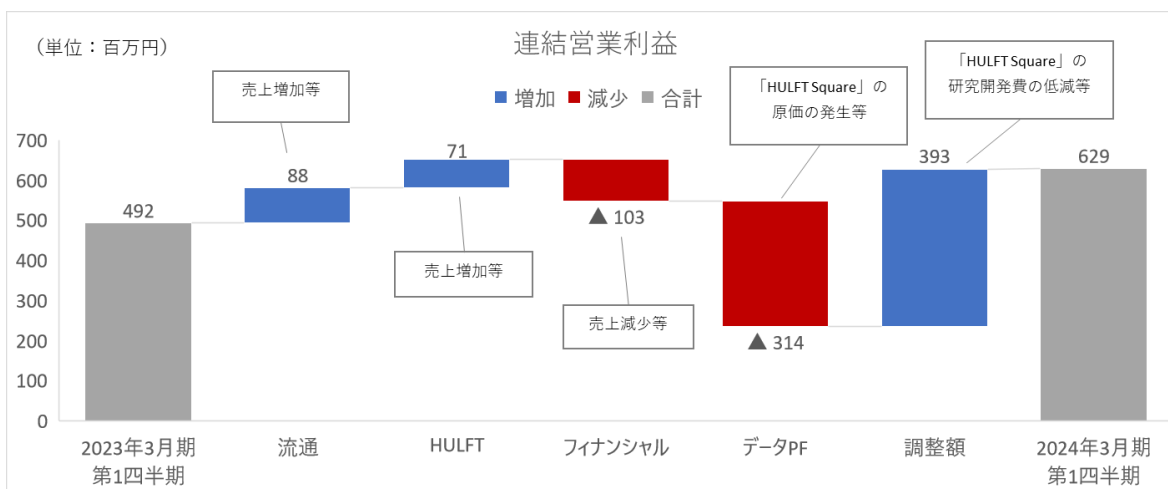
- リモートワークの拡大、イベント・商談のオンライン化等による生産性向上の取組みが奏功したものの、「HULFT Square」に関わる研究開発費が増加（前年同期比460百万円減）

2. 連結売上高・連結営業利益の事業セグメント別増減

■連結売上高



■連結営業利益



※連結営業利益における調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない「HULFT Square」に係る研究開発費等であります。

※セグメント名称は略称で表記しており、正式名称は以下のとおりです。

HULFT：HULFT 事業

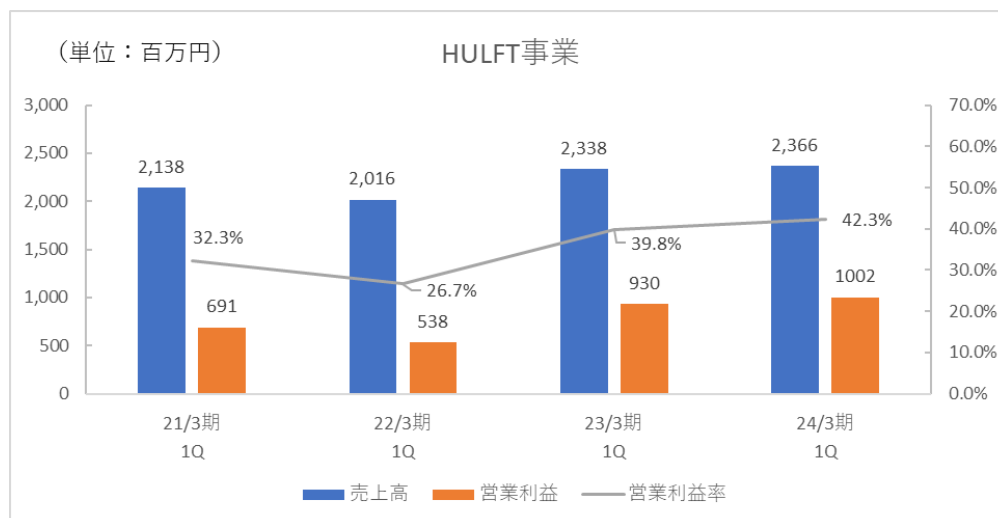
データ PF：データプラットフォーム事業

流通：流通 IT サービス事業

フィナンシャル：フィナンシャル IT サービス事業

3. 事業セグメント別の損益状況

① HULFT 事業



<当第1四半期>

- サポートサービスが順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 28 百万円増）
- 売上高の増加に伴い営業利益増加（前年同期比 71 百万円増）

<2023 年 3 月期第 1 四半期>

- 「HULFT」「DataSpider」等のライセンス販売が増加したことやサポートサービスの更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 322 百万円増）
- 売上高の増加に伴い営業利益増加（前年同期比 392 百万円増）

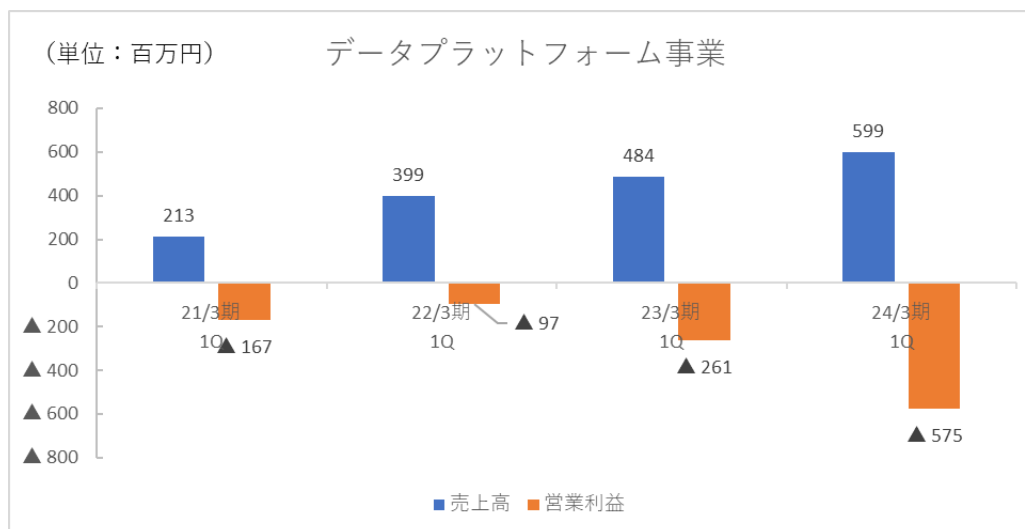
<2022 年 3 月期第 1 四半期>

- 昨年受注した「HULFT」「DataSpider」等のサポートサービスの更新が順調に推移し、ストック比率を前年同期比 1.5 ポイント増としたものの、前年同期のような大型の期首受注がなかったこと等により売上高減少（前年同期比 121 百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比 152 百万円減）

<2021 年 3 月期第 1 四半期>

- 「HULFT」「DataSpider」等のライセンス販売が鈍ったものの保守・サービス販売が増加したことにより売上高増加（前年同期比 5 百万円増）
- イベント・商談のオンライン化、営業活動品質・生産性向上等に伴う販売費及び一般管理費の減少等により営業利益増加（前年同期比 136 百万円増）

② データプラットフォーム事業



流通 IT サービス事業の一部としてサービス提供をしておりましたリンケージビジネスは、今後の更なる事業拡大を目指し、2021 年 3 月期から「リンケージ事業」として分離独立しています。また、2023 年 3 月期から「リンケージ事業」を「データプラットフォーム事業」に名称変更しております。

<当第 1 四半期（データプラットフォーム事業）>

- データ連携基盤構築案件が順調に拡大したこと等により売上高増加（前年同期比 114 百万円増）
- サービスの立ち上げフェーズである「HULFT Square」の原価の発生等により 575 百万円の営業損失（前年同期は 261 百万円の営業損失）

<2023 年 3 月期第 1 四半期（データプラットフォーム事業）>

- モダンマネジメントサービス及びモダンファイナンスサービスの売上拡大等により売上高増加（前年同期比 85 百万円増）
- 一時的な高負荷案件が発生したこと等より 261 百万円の営業損失（前年同期は 97 百万円の営業損失）

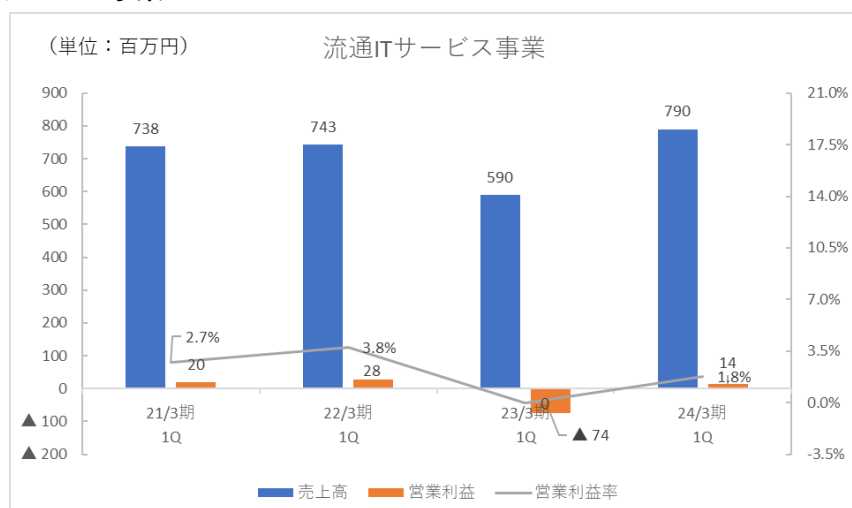
<2022 年 3 月期第 1 四半期（リンケージ事業）>

- モダンマネジメントサービス及びモダンファイナンスサービスを中心にお客様ベース・取引規模ともに拡大して大幅に進展したこと等により売上高増加（前年同期比 185 百万円増）
- リンケージサービス拡大を目指し、人員増加に伴うコストが増加したことにより 98 百万円の営業損失（前年同期は 167 百万円の営業損失）

<2021 年 3 月期第 1 四半期（リンケージ事業）>

- モダンマネジメントサービスをはじめとするデータ連携サービスが増加したこと等により売上高増加（前年同期比 10 百万円増）
- リンケージサービス拡大を目指し、人員増加に伴うコストが増加したことにより 167 百万円の営業損失（前年同期は 69 百万円の営業損失）

③ 流通 IT サービス事業



※2021年3月期から流通 IT サービス事業はリンケージビジネスを分離独立しています。2020年3月期以降は、リンケージビジネスを分離させた調整後の数値です。

<当第1四半期>

- 流通小売業・航空業を中心にお客様の IT 投資が回復してきたこと等により売上高増加（前年同期比 200 百万円増）
- 売上高の増加に伴い営業利益増加（前年同期は 74 百万円の営業損失）

<2023 年 3 月期第 1 四半期>

- 当社の強みが活きる DX 領域への選択と集中を図ったこと等により売上高減少（前年同期比 153 百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比 102 百万円減）

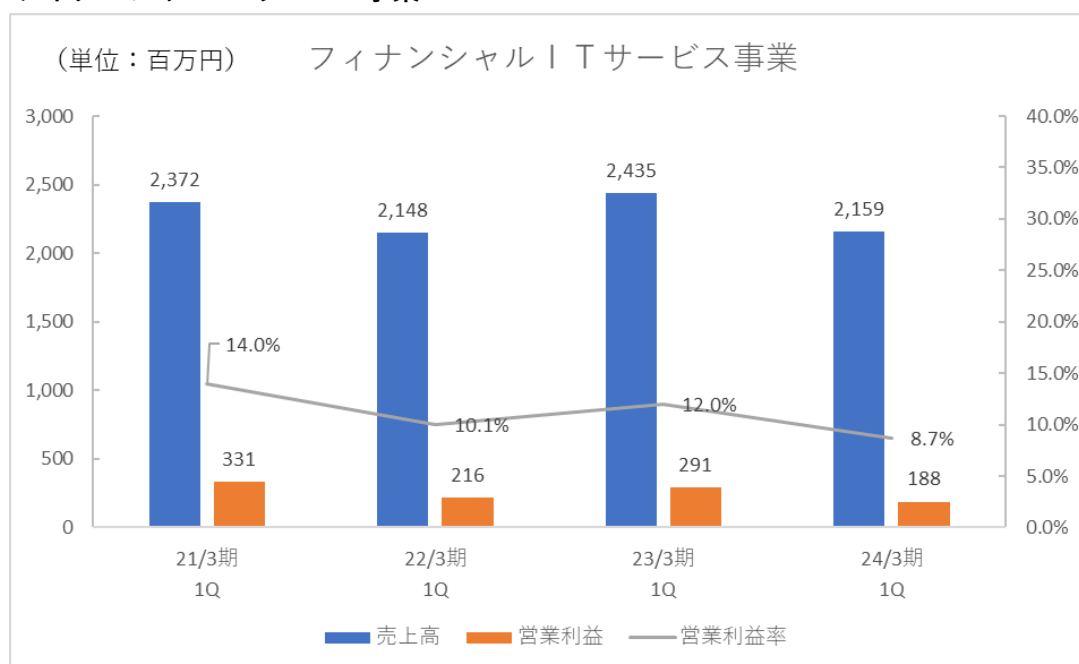
<2022 年 3 月期第 1 四半期>

- 一部のお客様において新型コロナウイルス感染症拡大による IT 投資抑制等の影響はありましたが、一方でこの機に積極的に DX を進めるお客様もあり、売上高増加（前年同期比 4 百万円増）
- 売上高の増加に伴い営業利益増加（前年同期比 7 百万円増）

<2021 年 3 月期第 1 四半期>

- 既存領域におけるシステム開発案件が減少したこと等により売上高減少（前年同期比 47 百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比 22 百万円減）

④ フィナンシャル IT サービス事業



<当第1四半期>

- 既存領域に関わる情報処理サービスの減少等により売上高減少（前年同期比 276 百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比 103 百万円減）

<2023 年 3 月期第 1 四半期>

- パブリッククラウド化へのインフラ環境構築等の新規サービス提供の進展や前連結会計年度からサービス提供を新たに開始した「HULFT Multi Connect Service」の売上等により売上高増加（前年同期比 287 百万円増）
- 売上高の増加に伴い営業利益増加（前年同期比 74 百万円増）

<2022 年 3 月期第 1 四半期>

- パブリッククラウド化へのインフラ環境構築等の新規サービス提供が進展した一方、既存領域におけるシステム運用案件の減少等に伴い売上高減少（前年同期比 224 百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比 115 百万円減）

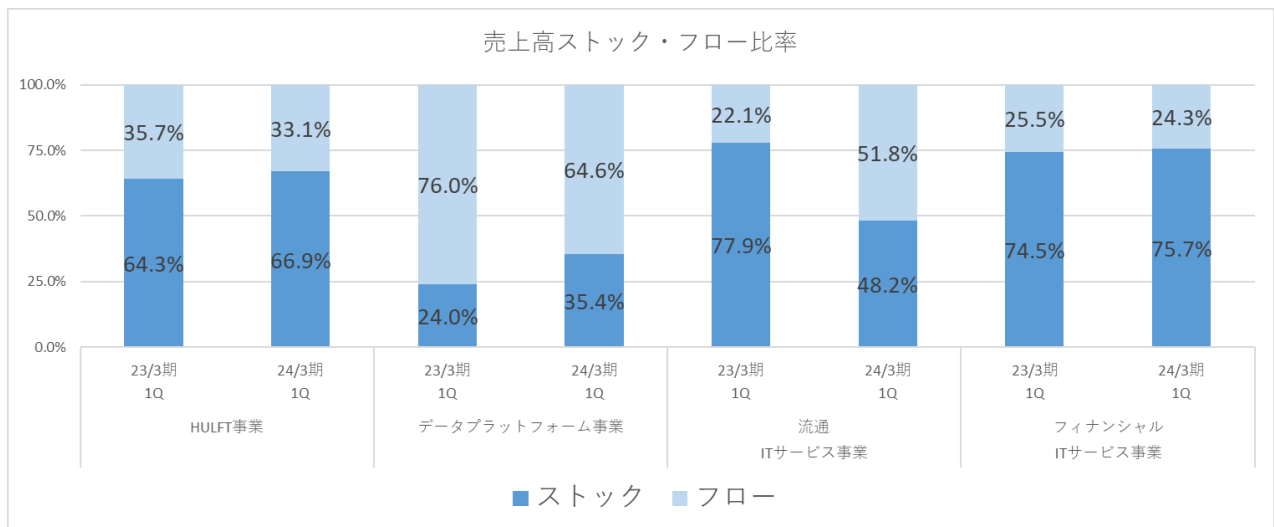
<2021 年 3 月期第 1 四半期>

- パブリッククラウド化へのインフラ環境構築等の新規サービス提供が進展したものの、既存領域における情報処理サービス案件の減少等したことにより売上高減少（前年同期比 250 百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比 10 百万円減）

4. 事業セグメント別の売上高ストック・フロー比率

当社グループは、金融・流通小売業をはじめとする多種多様な業種向けシステム開発・運用等及びデータ連携サービスを提供しております。前連結会計年度にリリースした iPaaS（クラウド型データ連携プラットフォーム）である「HULFT Square」を基盤として、サービス提供を中心としたストック型ビジネスの拡大を目指しております。

以下は、セグメント別売上高ストック・フロー比率を当連結会計年度と前年同期で比較したデータです。



※ストックは継続取引（当社製品・サービスに関するサポートサービス、サブスクリプション型サービス、システム保守運用等）、フローはスポット取引（ライセンス販売、システム開発等）

5. トピックス

■ニュースリリース一覧（期間：2023 年 4 月 1 日～2023 年 6 月 30 日）

サイオステクノロジーとセゾン情報システムズ、「LifeKeeper」と「DataSpider Servista」の連携ソリューション提供に向け協業強化

⇒サイオステクノロジー株式会社と株式会社セゾン情報システムズは、ノンプログラミング／ノーコードでシステム間のデータやアプリケーションをつなぐ「DataSpider Servista」と高可用性ソリューション「LifeKeeper」で技術協力し、基幹業務系システムでのデータ連携自動化と安定した稼働を実現させる連携ソリューションを共同で推進することを発表いたしました。

当社エンジニア 2 名、AWS Japan 主催の表彰プログラムに選出

～Japan AWS Top Engineers、小杉隼人が 5 年連続で受賞～

⇒AWS 社の AWS Partner Network（APN）に参加している企業所属の AWS エンジニアを表彰するプログラム「2023 Japan AWS Top Engineers」及び「2023 Japan AWS Jr. Champions」に、当社社員 2 名が選出されたことをお知らせいたします。

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

⇒当社は、2023 年 5 月 11 日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を更新いたしました。

HULFT 30 周年特設サイトオープン、記念キャンペーン開催

⇒ファイル連携ミドルウェア「HULFT」の発売から 30 周年を迎え、これまでのご愛顧を感謝して特設サイトをオープンいたしました。また、キャンペーン「HULFT THANKS PROJECT」を 8 月 17 日（木）まで開催いたします。



HULFT 30 周年特設サイト

<https://www.hulft.com/hulft30th>

大規模言語モデル（Large Language Models、LLM）研究会発足 ※1

⇒当社は、誰もが普通の言葉で簡単かつ安全にデータを活用できる未来の実現に向け、大規模言語モデルに関する全社的な研究会である「LLM Mavericks ※2」を発足いたしました。本研究会を通じて、先端テクノロジーに関する知見の蓄積や発展を加速させ、自社業務やお客様向け製品サービスへの早期活用を目指しております。

※1 大規模言語モデル（Large Language Models、LLM）とは、非常に巨大なデータセットとディープラーニング技術を用いて構築された言語モデルのこと

※2 Mavericks とは、新しいアイデアやアプローチを追求する個性的な人々のこと

「HULFT Square 技術者資格認定制度」を提供開始

⇒iPaaS「HULFT Square」の技術者を対象に「HULFT Square 技術者資格認定制度」の提供を開始いたしました。本制度は、「HULFT Square」の基礎的な知識や技術力を認定いたします。認定試験はオンライン形式で、事前に「HULFT Square 導入編」の研修受講を前提としております。今後、応用的な技術力を測るための認定範囲の拡張も予定しております。

データサイエンティスト育成支援の経過公表

⇒当社は、これまでのデータエンジニアリングで培ってきたノウハウを活かし、2019 年より滋賀大学・帝国データバンク Data Engineering and Machine Learning Center（以下、DEML センター）で学生のデータサイエンティスト育成を支援しております。DEML センター開設後、在籍学生数は約 3 年間で延べ 44 名になり、当社提供による「DataSpider」の研修は、同センター以外の学生も含め 50 名が受講しております。この中から 27 名がデータサイエンティストとして様々な企業・団体に活躍しています。

セゾン情報システムズは「セゾンテクノロジー」へ 技術起点でのさらなる事業発展に向け、2024 年 4 月 1 日商号変更

⇒当社は、第 54 期定時株主総会における議案承認を受け、2024 年 4 月 1 日をもって「株式会社セゾンテクノロジー（英文表記：Saison Technology Co.,Ltd.）」に商号変更いたします。

スクウェア・エニックスの欧州拠点、ソフトウェア統合管理と

グローバル ERP 統一プラットフォーム移行のため、 HULFT Integrate を選定⇒

⇒ゲーム業界の大手企業である Square Enix LTD.（株式会社スクウェア・エニックスの欧州拠点）が、当社グループ会社 HULFT, Inc.の提供する「HULFT Integrate」を財務・販売データの効率的な管理・統合のために採用したことを発表いたしました。

<お問い合わせ先>

株式会社セゾン情報システムズ

経営戦略本部 経営推進部 経営企画課 IR 担当

Tel：03-6370-2930

URL：<https://home.saison.co.jp/>